

2015年1月6日

年 頭 所 感

一般社団法人全国高圧ガス容器検査協会
会 長 白 砂 清 一

新年あけましておめでとうございます。
本年も宜しく願いいたします。

平成26年度総会におきまして新しく会長に選任され、早新しい年を迎えることとなりました。昨年中は皆様の多大なご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

当協会では、会員向けに容器検査に必要な知識や安全を高めるため多様な事業を行っております。平成26年度は、EFI型LPガス自動車用容器の再検査講習会を名古屋会場、九州会場、東京会場と実施いたしました。

また、民生用バルク供給は実用化後17年目を迎え、20年告示検査実施に向け関係団体、メーカーなど協議をはじめたところであり、小型のバルク貯槽はかなりの数が廃棄となる可能性があるため、当協会の技術委員会ではそのくず化の手順についても審議し「バルク貯槽くず化要領書」を作成しております。

さらに、数年前より取組んでいた「高圧ガス容器再検査及び設備基準（液化フルオロカーボン編）」は最終審議が終わり製本まで進んでおります。

本年は認定事業者制度を設けます。この認定を受けた事業者に発行する認定事業者証は、お客様がより安心して容器検査を任せられる事業者であることを証明するものとなります。

体制を整え、業界の信頼を担う制度になるよう目指してまいります。

さて、当協会では会員への取組みの一環として「全検協団体損害賠償責任保険」を取り扱っています。本年2月1日より更新となりますが、保険会社を変更し、更に充実した内容に変わりました。未加入の会員の皆様にはぜひご検討していただき、ご加入をお願いいたします。

最後になりますが、皆様のご健勝とご活躍を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。